

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-	
		スーパー（企画担当）	・SNSなどのWeb施策による集客が見込める。	
		コンビニ（経営者）	・公共工事が近隣で行われているので、作業員の来店増加が見込める。	
		通信会社（営業担当）	・学生の卒業の時期となり、需要が見込めることから期待はしている。ここでも他社キャリアとの競争に負けないよう、今の段階から早期アプローチを行っている。	
		観光名所（職員）	・予約状況がやや良くなっている。	
		百貨店（店舗企画）	・しばらくは不振が続くと予測している。今後は経費削減による利益確保へ、後ろ向きな業務が多くなるとみられる。	
		コンビニ（経営者）	・近隣での道路工事により車の動線が変化する可能性があり、来店客の増加を期待する反面、以前からある店舗への誘客にもつながることが想定でき、大きな変化は期待できない。	
		コンビニ（代表者）	・増税の影響がじわじわ来ている。また、観光客による県内景気への後押しも落ち着いた感がある。	
		衣料品専門店（経営者）	・今月は暑い気候であること、10月の消費税増税前の駆け込み需要の反動があるのか、客の購買意欲は全く感じられない。景気は非常に悪い状態であり、現時点ではこれからどうなるか予測がつかない。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率も、今月同様に前年実績を下回ることが見込まれる。韓国からの観光客減も若干ながら影響している。	
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・那覇空港第2滑走路の運用開始はあるものの、大幅な増便が見込めていないなかで、先行予約状況は前年並みで大きな変動はない。	
		住宅販売会社（代表取締役）	・当面の建築工事の受注は見込めるが、金融機関の投資案件に対する融資姿勢が慎重になっており、予断を許さないものとみられる。	
		商店街（代表者）	・商店街では物販業の廃業が相次いでいる。その後空き店舗に入ってくるのは飲食関連で、飽和状態になっている。単価も落ちているようで、同業で足を引っ張り合っているのが見受けられる。	
	企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		*	*	
		食料品製造業（総務）	・原料価格は徐々に上昇傾向で製品価格も一部値上げの動きがあり、消費者は特売日での購入等、節約傾向の動きが出てくるとみられる。	
		建設業（経営者）	・具体的な商談の案件が少ない。	
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島はホテルや量販店等の民需、港湾や公共建造物の官需共に増勢で、さらに、宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事もあり、生コンの出荷は増大している。ただし、海砂は採取船の故障や天候不良等が続き、大幅な生産不足が発生しており、今後が心配される。	
		会計事務所（所長）	・消費税増税の影響もあるが、景況に関してはまだ影響の程度が不透明である。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ここに来て、住宅向け及び賃貸共同住宅の物件が減少傾向にある。	
		x	-	-
雇用			-	-

関連 (沖縄)	求人情報誌製作会社（編集室）	・1年で一番求人件数が減る12月と比較すると件数は増加するとみられるが、大型商業施設の求人が一段落したこと、海外観光客数が伸び悩んでいることもあり、ホテル業や飲食業関連で求人件数が減少傾向にある。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・飲食関係の求人数が増加してこない。
	学校 [ 大学 ]（就職支援担当）	・求人数があるものの、求職者の動きが鈍い。
	職業安定所（職員）	・求人数もそろそろ頭打ちとみられる。
	x	-